

# 【特集】令和3年 令和4年 登米市成人式

～感謝の気持ちを胸に～



## 登米市で育った誇りを胸に

成人式を迎えた皆さんおめでとうございます。特に令和3年成人式対象者の皆さんは、式典が本当に開催されるのか不安の一年を過ごしたことと思います。その思いに応えるためにも、何とか成人式を挙行したい。どのような対策が必要で、どうすれば開催することができるのか何度も協議を重ねました。

式典は例年と異なる二部制での開催とし、多くの人が一カ所に留まることがないように誘導にも工夫するなどさまざまな感染対策に取り組みました。いろいろな制限の中での開催でしたが、久しぶりに会って近況報告や昔話に花を咲かせる皆さんの

マスク越しでも分かる程の笑顔を見て、心から開催することができてよかったと感じました。幸い、成人式を通じた感染はなく、適切な対策をすることができたものと捉えています。

成人式の企画、運営に協力してくれた実行委員の皆さん。特に令和3年の委員は二年の間協力いただきました。感染対策のため中止した企画があったことは残念ですが、委員皆さんの協力を頼もしく感じていました。

大人としての一步を踏み出した皆さん。自分は登米市で育ったんだという誇りを持って大きな世界に翼を広げてほしいと思います。



教育委員会教育部生涯学習課長  
山形 敦

※令和5年以降の成人式の対象者はこれまでどおり20歳です

## 成人式を迎えた皆さんへメッセージ

長年参加しているもので、着物や髪型などではやりの変化を目にすることができて勉強になっていきます。今年は髪に水引を付けていたり着物姿にブーツを履いていたりする人がいて感心しました。

以前は会場に一升瓶を持ち込むような人がいましたが、最近では行儀の良い人たちばかりです。式典中の態度や会話の中から礼儀正しさを感じ取っています。そんな皆さんだから、さまざまなことが制限されることにも我慢できるだろうと思います。

こんな時だからこそ、人とのつながりを大切にしてください。これからのいろいろな苦勞に出会おうと思いますが、人とのつながりがあれば困難も乗り越えていけるはずです。

### 人とのつながりを大切に



着付けボランティアの「花すみれ」の皆さん  
今野 裕美さん(中)

### 笑って話せる思い出に

司会として兩日の式典に携わりました。新成人の元気で初々しい姿を何年か見ていますが、成人式が延期となった皆さんがとて大人びていることに驚かされました。

いろいろな我慢が多い世代だといわれていますが、思い通りにならないことがあっても投げやりにならないでください。将来、自分たちの成人式はこうだったんだよと笑って話せるような大人になってくれるよう願っています。

また、今年は式典が4回ありました。人生の節目である成人式。なんとか門出を祝いたい、苦勞しながら運営する主催の姿をすぐそばで見たいました。成人式に携わる人たちの苦勞。それがあったから成人式を開催することができたことにも感謝して社会へと羽ばたいてください。



登米コミュニティエフエム  
佐藤 万里子さん

### 新たな船出 それぞれの航路へ舵を

人は船に例えられることがあります。大きな船や小さな船。いかだやささ舟。一口に船と言ってもさまざまな種類、用途があります。皆さんは自分という船をどのように考えるでしょうか。

船は港にいれば安全ですが、それだけでは船としての役目を果たせません。荒れる海原に帆を進めなければならぬときもあります。私たちの人生も同じで、今まで守ってくれていた家族や友人から離れ、社会という海原に向っていかねばなりません。他の船と接触したり暗礁に乗り上げたりと、これまで経験したことのない、想像もしていなかったような苦勞が待っているかもしれません。これから出航する人だけでなく、航海が始まっている人もいると思います。航海が困難なほど達成したときに得るものは大きく、自分の中で大切な宝物になるはずです。

失敗や挫折を恐れず、いろいろなことにチャレンジしてください。私たち先輩が、灯台となって皆さんの航路を照らしていきたいと思えます。